

## 役員所感

専務理事 飛田 泰二

上越青年会議所が発足して52年の長き月日が経ち、これまで数々の諸先輩方が滾る思いの中、地域の為に活動を続けて頂きました。社会情勢も大きく変化する中で、我々現役メンバーは何を思い、これからの活動を続けていかなければならないのでしょうか。「我々が住む郷土上越を良くしたい」そんな地域の人々の喜ぶ活動が上越青年会議所に臨まれた使命であり、より市民と共に協働することで更なる地域の発展に寄与できると考えます。

植木理事長が掲げる「FUN TO JC, AGAIN」をスローガンに2017年度がスタートいたしました。メンバー全員が楽しみながらJC活動をする為に活動の目的、意義を明確にし、当事者意識を持って活動できるようLOM内外の連携が大切だと考えます。事業に対しては担当委員会に寄り添いながら、LOMメンバー全員が一つの事業に積極的に取り組み、支え合える組織運営を目指します。今年度は、特に当LOMが持続可能な発展を遂げるためにも必要不可欠な会員拡大を推進します。現在メンバーが78名と少なくなっていますが、JCに入会することで地域のリーダーとなる人材育成を行い、地域と共に活発な活動を行うことでまちを元気にします。また財政の健全化と更なる基盤強化の為に、新たにクラウドファンディングを活用します。財政の強化だけでなく、その事業のファンを増やし市民の共感を協働へつなげていきます。そして専務理事として日本青年会議所、北陸信越地区協議会、新潟ブロック協議会、更には行政、関係諸団体との連携を密にし、JC活動がより学びあるように常に感謝の気持ちでLOM運営に全力を尽くします。

我々の行う事業は近い将来、遠い未来、何かしらその事業がきっかけで世の中の課題を解決するような運動をしなければなりません。「運動は一人から始まる」、想いを持って我々JAYCEEが一人ひとり行動することで明るい豊かな社会の実現に近づくと確信します。